

# まちの声

みんながつくる「住みよさと活気あふれるまち」——甲賀市が10月1日にスタートしました。そこで、10月1日生まれの皆さんからいただいた、新しいまちづくりに寄せる声をお届けします。

## 原 智恵さん

「誕生おめでとう！」  
生まれる時は希望と期待と可能性に胸がくちませて幸せに満ちあふれている。気持ちを新たに「甲賀市」を育み「責任」を果たさなければならぬ。  
その為には甲賀市民の一人ひとりが関心を持ち、古き良き時代と目まぐるしく変わる新しい時代の中で、環境や人々に適応し柔軟な生活環境を作りあげていきたい。  
私は、大阪、神戸、草津、大津と過酷な生活を経て海、山、湖と自然にも恵まれ、街にも恵まれていた。家族にも恵まれ、この街に縁があった。街を発展させていくには「人」が必要である。その為にも交通機関の充実を早期に実現して欲しい。そして、甲賀市民が「LOVE 甲賀市」で愛を注ぎたい。

## 伴 武治さん

21世紀は環境の世紀ともいわれています。  
自然の美しいやすらぎのある街「甲賀市」——私たちの祖先は鈴鹿の山々と、野洲川に明日を見つめ、豊かな大地の恵みに感謝をし、たくましく生きてきました。先人の歩みを受け継ぎ輝く緑と澄んだ水とそんな美しい郷土「甲賀市」。地域の人々と手を携え、すこやかな出会いと、高齢者が楽しく生き生きとした生活を、また、子どもたちの未来のため次世代を見つめ直し、心と心のふれあいを大切に自然と人間が共生できる心豊かな潤いのあるそんな「甲賀市」であってほしいものです。

## 竹山 佳子さん

新市制発足おめでとうございます。この甲賀へ来て20年がたちました。初めは「よくこんな田舎にきたな」と言われていましたが、地域行事やPTA活動、婦人会活動、スポーツを通して得た貴重な体験や感動、仲間たちなど、本当にたくさんのものを得ました。田舎だからこそ、みんながより良い生活をしようと努力し、他から来たものを温かく包んでいただいたことに感謝しています。  
これからもそれぞれの年代で、それぞれの活躍のできる場を広げていただき、温かい甲賀市をみんなで作ってほしいと思います。

## 大森登美子さん

現在、土山町において地域住民が参加する「イベント」などが縮小しているように思います。やはり住民が参加し、活気あふれるまちになるように、祭りなども一部だけでも開催してほしいです。  
ただではなく、まち全体が参加し、盛り上げていくようなイベントにしたいと思っています。  
また福祉関係では、「これだけ制度があれば良いだろう」というのではなく、住民の本当の声を聞き取り、困っている人の立場にたつたよりよい制度にして欲しいです。  
そして中心部だけ充実し、へき地だけが置いていかれるこのままの状況に、地域の特性をふまえた上で、よりよいまちづくりをして欲しいと思います。

## 前田 重幸さん

私にとって、選歴で誕生日と忘れられない合併の日であります。  
今日まで甲賀郡○○町とあらゆる書面に記載しておりましたが、10月1日から甲賀市になります。少し違和感がありますが、すへ慣れると思います。  
前進に向かう諸行面にあっても、市民一人ひとりの思いやりと心と心の通う明るい市、また将来を担ってくれる若者たちが市になって良かったといえる住み良い活気のある甲賀市となることを願っています。

## 田中ふさのさん

待望の甲賀市誕生をお喜び申し上げます。意義あるこの時の「紙面に載せるから」と突然のご指名を受け、面映ゆくも嬉しく存じます。  
私は、夫が日中戦争で没した後、家の守りなどの苦労、一般に人権感覚の鈍い当時、女性には大変厳しいものでしたが、亡夫の加護が、健康で長らえ、この間の社会変化を見て感慨でいっぱいです。ここにきて、第3名神の甲南インターから一度でも乗り入れを夢みています。  
さて、新市には旧町にあった長所は継承し、便利で安心なまち、将来的にも大都市で、他からも好まれるまちになればと念じます。

## 山本 順生さん

新しい甲賀市の誕生を心から祝福するともに、限らない夢と希望の未来へ大きな期待をするものであります。  
今までの甲賀地域5町のあゆみは、それぞれの異なる環境や行政のもとですばらしい町の歴史を創ってきました。  
これからは、9万5千人の住民が健康で安心して暮らせるまちづくりのために、一つの目標に向かって邁進しなければなりません。  
それには、市民一人ひとりが新市への愛着と市民主役のまちづくりの自覚が必要だと思います。

## 田口 純次さん

慣れ親しんできた町から大きな市に変わること、期待と不安が半々である。各町の特性は残しながら市として一丸となることが新しいまちづくりに必要だと感じている。  
団体が大きくなれば、いかに合理的に事を進めるかが選択の二つにあげられるであろう。しかし、そこには市民の想いがこめられていて、どの年代の人でも、自分たちの住むこの甲賀市のために一生懸命になれるような人間味のあるまちづくりへの盛り上げを期待する。

## 下 大八郎さん

甲賀市へ、足並み揃えた飛躍を期待したい。地域のニーズに合わせた的確に提供できるインフラ整備をしつつ、十分に行き届いた心のサービス、行政サービスの向上に努めて欲しい。  
また、住民福祉は高い基準で調整し、負担公平の原則により行政格差を生じないように努めていただきたい。そのために、職員のリベラルアップを期待する。  
さらに、自治体と住民が一体となって意識改革を行い「元気なまちづくり」ができることを期待したい。

## 永田 裕子さん

ハッピーバースデー甲賀市——10月1日、新市「甲賀市」誕生、本当におめでとうございます。  
新市に期待すること、合併のスケールメリットを活かして、今までできなかった福祉などのたぐさんの行政サービスを多くの人を受けられるようになることを望んでいます。そして、より便利で快適な生活のまちに近づければと願っています。  
この市に生まれ、育ち、住んで良かったと胸を張って言えるような「住みよさと活気あふれるまち」——甲賀市になるように、私たち住民一人ひとりが努力していかなくてはなりません。  
そんな思いが、未来のまちの姿を「輝きあふれるもの」と導いてくれると思います。